

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ImuA(167) 放課後ディサービス		
○保護者評価実施期間	R8年2月8日		~ R8年4月8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 27	(回答者数)	18
○従業者評価実施期間	R8年2月8日		~ R8年4月8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 10	(回答者数)	10
○事業向け自己評価表作成日	R8年4月10日		

分析結果	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	年齢・成長課程、特性に応じて利用曜日を分け よりの環境を提供している	利用時間を分け、一斉にお友だちや人数の調整を行っている	それぞれの時間、曜日に 応じたプログラムの強化
2	自己決定 自己確立を 目指し、自分で考え行う 経験を大切にしている	今日、何をして過ごすのか 子どもが自ら選べるだけでなく 自分で工夫できるようにしている	子ども自身が考えたプログラムや やりたいことを実際に行い、実現 できるように、一斉に立案を行っている
3	保護者様同士の相談や 保護者様同士の集まりにおいて 利用しやすい時間を設けている	家族支援を積極的に 導入し、曜日の固定化や保護者 様同士の話し合いの場も募っている	時間が充実したものに なるよう、その都度事業所にて お礼の振り返りを行う

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	多方面への送迎の対応の 難しさ	送迎に対応するスタッフの 人数不足。送迎を踏まえた 上のご利用確認の必要性	ご利用前には送迎の確認 を行い、送迎可能な曜日を 確認しておく
2	同じ学年には同じ時間 違う学校のお迎えに対する 送迎くみ立て	長い期間のご利用の中で 学年が変わり時間割が違 ない同じ時間に集中する	オープンスクエアや自宅おえ 等、おむすびの時は ご協力を願っています
3	子どもたちの成長に伴う体の 大きさ、動きの大きさに対する 室内の利用の工夫	長い期間のご利用の中で 子どもたちの体の成長を踏ま えた室内の空間に余裕がない	利用時間を2つに分け 最大5人お静かな空間、動き ある空間と分けて提供している